

令和 2 年 4 月 17 日
結 城 信 用 金 庫

「グリーンボンド」への投資について

結城信用金庫（理事長：石塚 清博）は、社会貢献活動の一環として、令和 2 年 4 月に独立行政法人住宅金融支援機構が発行する「グリーンボンド」への投資を行いました。

「グリーンボンド」とは、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー性の向上といった環境改善効果のある事業（グリーンプロジェクト）の資金を調達するために発行される債券のことです。

住宅金融支援機構では、省エネルギー性や耐震性など質の高い住宅を取得する場合に、借入金利を一定期間引き下げる【フラット 35】S を実施しています。本債券は、【フラット 35】S の技術基準を満たす住宅のうち「省エネルギー性に優れた新築住宅」を対象とした住宅ローン債権の買取代金を資金使途としたものになります。

当金庫は、“ユーシン「共創力発揮」2018” 3 か年計画 ～地域と共に未来へ歩み続ける信用金庫を目指して～ において、地方創生の取組みを通じ、2015 年 9 月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）や地域貢献などの社会的要請に応えることとしております。

今後も引き続き、地域金融機関として、持続可能な地域社会発展への貢献をより一層進めてまいります。

記

＜購入したグリーンボンドの概要＞

銘 柄	一般担保第 285 回住宅金融支援機構債券
年 限	10 年
発 行 額	300 億円
発 行 日	2020 年 4 月 17 日
資 金 使 途	省エネルギー性に優れた新築住宅にかかるローン債権の買取代金

以上